

30

平成30年度事業報告



とちぎ協働デザインリーグ

TOCHIGI COLLABORATION DESIGN LEAGUE

みんなと育むまちづくりシンクタンク

目 次

はじめに

1 中山間地域元気創出事業〔企業連携促進事業〕（栃木県農政部農村振興課）	1
2 栃木グリーン・ツーリズム推進事業（栃木県農政部農村振興課）	4

<参考>

とちぎ協働デザインリーグ 団体運営	8
-------------------------	---

はじめに

平成 30 年度のとちぎ協働デザインリーグ事業報告をいたします。前年度と比べると報告内容はずいぶん減りました。「コミュニティカレッジ」（県コミュニティ協会委託）、「若者の社会貢献活動参加促進事業」、「企業の協働参加促進事業」（いずれも県民文化課委託）が平成 29 年度をもって終了したためです。とちぎボランティア NPO センター（ぼ・ぼ・ら）の管理運営事業にも関わる事項が多く、その意味では相乗効果をもった事業であったので、そこは残念です。

さて、平成 30 年度事業報告は 2 件で、いずれも県農村振興課からの委託事業です。「栃木グリーン・ツーリズム推進事業」は、平成 25 年度から継続している課題です。平成 27 年度からは地域におけるグリーン・ツーリズム実践者のネットワーク化をめざし、ワークショップを通じてモデルプログラムを構築し、モニターツアーを実施して実践者にツーリスト受入の経験を積んでもらうとともに、地域内での実践者間の連携・交流を促進するための取組を行っています。平成 30 年度は河内農業振興事務所管内（上三川町）と上都賀農業振興事務所管内（鹿沼市）の 2 か所での実践です。

「中山間地域元気創出事業（企業連携促進事業）」は平成 28 年度から取り組んでいます。少子高齢化が進み多くの困難を抱える中山間地域を企業との連携によって活性化を図るといねらいで、地域、企業双方へ働きかけを行い、両者のマッチングを支援するものです。平成 30 年度は 3 回のマッチング相談会の実施が主な内容です。

いずれの受託事業も、地域における行政を含む多様な主体間の連携・交流を促進し、協働の取組にまで高めようといねらいをもつもので、『協働によるまちづくりの調査研究、支援および提言』（NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ定款第 3 条）を掲げるリーグにとってミッションを実践するという意味で重要な取組です。内容について皆さまからの忌憚のないご意見を賜れば幸いです。また、平成 30 年 12 月に NPO 法人化したリーグとして、さらに多くの分野で協働によるまちづくりを展開して参りたいと考えています。皆さまのご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月

とちぎ協働デザインリーグ理事長 三橋伸夫

1 趣 旨

過疎化・高齢化により農地の荒廃や集落機能の低下が進行している中山間地域と、地域貢献や、新しいビジネスチャンスやフィールドワークへの関心が高まる企業が連携した地域づくりや協働活動等を支援し、企業と地域の結びつきを深めることで継続的な交流人口の増加と、地域の活性化を図った。

2 概 要

■企業及び農山村の情報収集及びニーズ把握

(1) 連携を望む企業の情報発信及び情報収集

①事業に係る情報発信及び企業情報の収集

事業概要及び過去2年間の取組状況及び今年度事業予定を送付した。

実施時期：平成30年6月 配布数：276社

②企業ニーズの聞き取りと「企業カルテ」の作成

相談会参加企業を中心に、プロフィールシートを事前に配布し、相談会終了後には、連携活動に向けた要望などの聞き取りを行うなど、個別にフォローアップを行いながら「企業カルテ」を作成した。

カルテ作成数：H30年度 新規11社（H29年度 新規14社、H28年度 新規12社）

③「企業リスト」及び「企業カルテ」の管理

訪問や相談会後の聞き取り結果をもとに、「企業リスト」の更新、リストアップ企業への各種情報提供や「企業カルテ」内容の充実を行った。

企業リストの更新：279件 カルテの充実：過去の更新3社

(2) 連携を望む農山村地域の情報収集及びニーズの把握

①事業に係る情報発信及び地域組織情報の収集

事業概要及び過去2年間の取組状況及び今年度事業予定を送付した。

実施時期：平成30年6月 配布先：地域組織 300件

②地域ニーズの聞き取りと「地域カルテ」の作成

栃木県各農業振興事務所及び関係市町と連携し、企業連携への関心のある地域へ働きかけ、関係者同席のもと地域組織への聞き取りを実施し、「地域カルテ」を作成した。

カルテ作成数：5地域

③「地域リスト」及び「地域カルテ」の管理

聞き取り結果をもとに、「地域リスト」の更新、リストアップ地域への各種情報提供、「地域カルテ」内容の充実及び連携活動に向けた個別の働きかけを行った。

カルテの充実：昨年度の内容の更新1カ所 個別の働きかけ：1地域

■企業と農山村のマッチング

(1) 相談会の実施

目 的：農地の荒廃や集落機能の低下が深刻化しつつある栃木県内の中山間地域と、地域貢献や農村地域での福利厚生、新しいビジネスチャンスなどに関心のある企業との出会いの場を設けることで、連携した活動の実施に結びつける。

<第1回相談会>

日 時：平成30年8月2日（木）

会 場：栃木県庁 北別館 402会議室

参加者：企業4社5名、地域組織2地域3名、
市町職員5名、農業振興事務所4名、
事務局9名

<第2回相談会>

日 時：平成30年11月27日（火）

会 場：栃木県研修館 4階講堂入口横



参加者：企業8社9名、地域組織3地域4名、
市町職員11名、農業振興事務所6名、
事務局3名

<第3回相談会>

日時：平成31年3月18日（月）

会場：安足農業振興事務所（安蘇庁舎）5階会議室

参加者：企業8社11名、地域組織10地域20名、
商工団体2名、市職員3名、
農業振興事務所2名、事務局5名

<フォローアップ>

相談会参加企業及び地域組織に対し、参加の感想や今後の連携活動の意向の有無等を個別に確認した。連携活動への意向の示された企業及び地域に対しては、関係市町や農村振興事務所と協力し、具体的な活動へつなげるべく働きかけを行った。



(2) 連携活動の実践に係る意向確認

① 栃木県中山間地域活性化推進協議会×とちぎコープ生活協同組合（昨年度包括連携協定を締結）
コープ会員向けの会報誌に栃木県中山間地域の情報配信を実施。次年度も、栃木県中山間地域の理解促進や、関係12市町の各種PRをとちぎコープが協力することで合意を得ている。

② 高瀬集落（那須町）×（株）大岩建設（大田原市）

今年度こいのぼりの竿たて、ホタル生息地の環境保全活動等を実践し、次年度も2つの活動について連携して実施する方向で現在調整中である。また、（株）大岩建設の家族向けのイベント等への高瀬集落の協力などの提案がなされた。双方から、次年度も継続して連携活動を実施することの確認がなされ、次年度協定締結に向けて具体的に検討することの意向も示された。

③ 塩谷町×明治牛乳（株）

明治牛乳（株）より、次年度もとちぎ夢大地応援団を通じた活動を実施したい旨の意向を確認した。

④ 閑援隊（佐野市）×とちぎコープ

連携活動の希望はあるが、年度内の具体的活動は見込めない。

⑤ 西大芦地区（鹿沼市）×（株）八百半フードサービス

企業側の担当者が変更になったことから、新たな連携活動の取組は困難。

⑥ 塩谷町×カルビー（株）

具体的な進展はなし。ただし、次年度も、定期的に情報提供を続けていく。

⑦ その他

第3回相談会実施の結果、地域との連携の可能性を見出した企業が複数あり、中には実践活動に向けた具体的な話にまで進んだ地域があった。フォローアップは次年度に引き継ぐこととする。

■企業と農山村の連携活動の支援

ア) 高瀬集落×（株）大岩建設

① 連携活動の実践

「農道でのこいのぼりの設置作業」

日時：平成30年4月20日（金）

場所：那須町高瀬集落

参加者：高瀬集落7名、（株）大岩建設4名

事務局 那須町役場1名、那須農業振興事務所1名、
栃木県農村振興課1名、とちぎ協働デザインリーグ1名

概要：集落内の農道沿いに近隣から切り取った竹を用いてこいのぼりを掲げた。1本の竹に2匹ずつ設置し、計30本60匹のこいのぼりを全て手作業で立ち上げた。



②連携活動の振り返り

連携活動を実施した感想、成果、課題や要望、今後の継続の意向などについて、高瀬集落・(株)大岩建設各々に聞き取りを行い、双方の継続の意向を確認し、協定締結を視野に入れつつ引き続き活動の支援を行うこととした。

③次年度連携活動計画の作成

日 時：平成31年3月8日（金）

イ）栃木県中山間地域活性化推進協議会×とちぎコープ生活協同組合

①連携活動の実践

「とちぎコープフェスタ in 宇都宮」

日 時：平成30年4月28日（土）

内 容：栃木県中山間地域紹介ブース、中山間地域の物産品販売ブースの設置

②連携活動の振り返り

「西那須野ふれあいまつり」におけるスポンサー協力、とちぎコープ生活協同組合の「おしゃべり・かわら版」や「宅配センター担当者ニュース」様々なメディアを通じた中山間地域の広報協力等を行っている。

ウ）塩谷町×栃木明治牛乳(株)

①連携活動の実践

「とちぎ夢大地応援団への参加」

実施日：平成30年11月23日（金）、12月8日（土）

場 所：塩谷町 参加者：栃木明治牛乳(株) 計20名

②連携活動の振り返り

参加者に対してアンケートを実施、結果をフィードバックするとともに、工場長及び担当者に関後の活動の継続に関する意向確認を行った。



3 成果と課題

今年度、地域と企業のマッチングの場として、計3回の相談会を実施した。地域社会への関心度が高まりつつある企業の反応が比較的良好であるのに対して、前年度課題となっていた地域の参加促進について、今年度は地域の対象の捉え方を柔軟にし、集落単位にこだわらず、意欲のある小規模な組織（1地域内に最低3戸の農家の集まり）を対象に含めることとし、参加を促した。

今年度実施した3回の相談会のうち1、2回目は栃木県全域を対象に、県庁にて開催したが、特に地域側の参加を促すのに苦戦した。一方、地域（安足地方）に出向いて開催した3回目は、農業振興事務所や市役所担当者の、「地元開催で声をかけやすかった」という言葉通り、地域の参加者が今までになく多かった。企業も地元への貢献意欲の高い企業が多く参加したこともあり、非常に活気のある相談会となり、具体的な実践活動にまで話が発展するケースも見られた。

地方での相談会開催は、参加しやすさはもとより、地元での活動を希望する地域や企業との出会いの場であることから、物理的な条件をクリアした上で相談ができ、非常に有効であることが確認できた。次年度は更に他地域においても、地方で相談会を開催し、より多くの地元の地域や企業に参加していただき、実践活動につながる機会を増やしていきたいと考えている。

連携活動については、今年度初めて3件の実践活動を行うことができた。企業がより具体的な取り組みのイメージと条件を持って相談会に参加することで、地域や活動内容を選定しやすくなり、その後スムーズに実践活動につながっていったように思われる。具体的な取り組みのイメージがまだ描けていない地域や企業に対しては、聞き取りをしながらのカルテ作りが有効であると考えられる。

今後の主な課題は、企業連携に対する地域の意識醸成であろう。地域との接点を持つ市町担当者やそれを支える農業振興事務所担当者が企業連携への意識を高めるとともに、日頃から地域に対して、企業連携のイメージづくりなどの働きかけを行うことも必要ではないかと考える。

また、地域及び企業が当事業に期待することとして、行政の広報協力が大きいとの声があがっていた。

1 目 的

グリーン・ツーリズムの推進による農村地域への誘客促進を図るために、栃木県グリーン・ツーリズムネットワーク（以下「ネットワーク」）を運営するとともに、「食の街道」や「とちぎのふるさと田園風景百選」等の取組と連携し、宿泊を伴う滞在型のグリーン・ツーリズムの受入など、農泊の推進に向け多様な旅行者のニーズに対応した受入態勢の調査・検討や、ネットワーク会員の活動状況等の情報発信を行う。

2 概 要

■栃木県グリーン・ツーリズムネットワークの運営

県内のグリーン・ツーリズムに関する問合せの対応やネットワーク会員の募集等、ネットワークの運営管理を行い、ネットワークの課題解決に向けた研修会及び意見交換会を開催した。

(1) 第1回都市農村交流研修会

日 時：平成30年10月4日（木）

会 場：栃木県総合文化センター 第1会議室

出席者：88名（事務局8名）

内 容：栃木県におけるグリーン・ツーリズムの取組について

講演会「受入態勢強化に向けた地域組織づくりについて」

「行政と連携した地域組織づくりについて～大田原グリーン・ツーリズム協議会～」

(2) 第2回都市農村交流研修会

日 時：平成31年3月5日（火）

会 場：栃木県庁北別館4階 会議室402

出席者：59名（事務局9名）

内 容：「グリーン・ツーリズムの受入態勢の整備・強化に向けて～事業者間の連携の重要性について～」

パネルディスカッション（県内の取組事例について）

■情報発信及び情報交換

(1) ホームページの改修

栃木県のグリーン・ツーリズムをより広く周知し更なる農村への誘客を図ることを目的に、とちぎファーマーズチャレンジネット内にグリーン・ツーリズム専用ページを新規に設け、グリーン・ツーリズム関連情報の検索機能の強化を図った。

(2) 農泊リーフレットの作成

栃木県のグリーン・ツーリズムをより広く周知し、更なる農村への誘客及び農家民宿の普及啓発を図ることを目的に、農家民宿に興味のある方々向けにリーフレットを製作した。

(3) SNS等による情報発信

ネットワーク会員の活動状況やイベント情報等を収集し、SNSを活用し、広くPRを行った。ネットワーク会員に対し、グリーン・ツーリズムに関する取組事例や研修会等の情報提供を行った。

■調査研究

グリーン・ツーリズム推進上の地域課題等の対応策をモデル的に調査・検討するため、滞在型のグリーン・ツーリズムに係る地域資源の整理、ワークショップ等を通じたツアーメニューの調査研究の開催及び誘客プログラムの実施並びに反省会を開催した。（2地域）

(1) 河内地方（上三川町）

<目的>

河内地区（上三川町）の滞在型グリーン・ツーリズムの推進にあたり、グリーン・ツーリズムの取組に興味のある地域の農業者や行政関係者等が情報を共有するとともに、地域課題等を整理するワークショップやツアーメニューの調査・研究（以下、モデルプログラムという。）の実施を通して関係者間の連携強化

を図りながら、上三川町におけるグリーン・ツーリズムの推進方策を検討する。

①第1回検討会（ワークショップ）

日 時：平成30年9月26日（水）

場 所：農村環境改善センター

参加者：12名（事務局8名）

内 容：昨年度の実施結果を踏まえた課題等の整理
資源の再確認と磨き上げ
今年度モデルプログラムの方向性の検討



②第2回検討会（ワークショップ）

日 時：平成30年10月17日（水）

場 所：上三川いきいきプラザ

参加者：11名（事務局8名）

内 容：ターゲットの検討及びモニターツアー実施日の決定
目的の確認及びテーマの設定
プログラム行程の詳細及び役割分担の検討



③モニターツアーの実施

日 時：平成30年12月15日（土）

参加者：日産社員とその家族 18名

行程：上三川町役場～カクタ花農場→田川ふれあい公園～石崎農園～上三川町役場（～いきいきナイト）



参加者の方々からは、「楽しく過ごせた」、「何気なくたべているもの、花などに生産者の苦勞がみれた」、「日産として上三川町との交流を増やしていきたい」などの声を頂き、地域と地元企業従業員の交流が深まった。

④第3回検討会

日 時：平成31年1月28日（月）

場 所：農村環境改善センター

参加者：9名（事務局6名）

内 容：平成29年、平成30年モニターツアー実施報告
モデルプログラムの振り返り
今後の方向性についての意見交換



⑤成果と課題

昨年度はグリーン・ツーリズムの趣旨や意義など理解が不足気味のままモデルプログラム実施に至り、その後の振り返りができなかった。それを踏まえ、今年度は趣旨や意義を丁寧に確認しながら、再度地域資源の掘り起こしから取り組み、地域の組織化と自立を目指し事業推進を図った。また、今年度は、新たな取組として、地域の特性を活かし企業との連携を視野に入れ、地元大手企業をターゲットにスタート当初から総務担当者に関わっていただきながらモデルプログラムの企画からモニターツアー実施までを進めることができた。

モニターツアー実施では地元企業の社員とその家族に参加していただき、従業員とその家族に普段勤務している地元地域とのふれあいを存分に味わっていただけた。

モニターツアー実施後に振り返りの場を設け、地域及び参加者の感想及び今後の方向性についての意見

交換を行った。地元と参加者の対話の時間が極めて少なかったとの意見に対し、生産者を際立たせて1生産者ごとにストーリーを作り、生産の過程を説明し、ものを食べながら交流するなどの工夫があるとよいことや、事前のワークショップが足りなかったとの意見に対しては、時期ごとに他の生産者は何ができるか？を考えてみる事が大切であり、四季ごとの体験カレンダーを一年中埋める作業を行うと良いなどのアドバイスがなされた。また、今年度、企画時から関わってくださった日産自動車栃木工場関係者からは、地域との交流の継続の意向が示されるとともに、地域PRの協力も申し出ていただけた。

今後の展開としては、上三川町の特性を活かした企業連携型グリーン・ツーリズムを継続・発展させることが一つ方向性として浮かび上がってくる。今回のモデルプログラムをきっかけに、上三川町役場や栃木県が継続的に支援できる体制を構築し、是非企業の意向をチャンスと捉え、関係性を深めていってほしいと思う。地元企業の社員と地域が、農村での交流を通じてより身近で深い関係性に発展していくことを期待したい。

(2) 上都賀地方（鹿沼市）

＜目的＞

グリーン・ツーリズムの取組に興味のある地域の農業者や行政関係者等が情報を共有するとともに、地域資源の磨き上げや農泊などの宿泊を伴う滞在型ツアーの可能性を模索するワークショップやツアーメニューの調査・研究（以下、モデルプログラムという。）の実施を通して関係者間の連携強化を図りながら、鹿沼市におけるグリーン・ツーリズムの推進方策を検討する。

①第1回検討会（ワークショップ）

日 時：平成30年9月28日（金）

場 所：栗野コミュニティセンター2階研修室

参加者：11名（事務局9名）

内 容：資源の洗い出し

今年度モデルプログラムの方向性の検討

②第2回検討会（ワークショップ）

日 時：平成30年10月9日（火）

場 所：栗野コミュニティセンター

参加者：9名（事務局9名）

内 容：ターゲットの検討及びモニターツアー実施日決定

テーマの設定

プログラム行程の詳細及び役割分担の検討

③モニターツアーの実施

日 時：平成30年11月22日（水）～23日（木）

参加者：モニター 首都圏在住夫婦2組4名、有識者2名 計6名

行 程：

（1日目）集合（東武新鹿沼駅、花木センター）～苔玉づくり体験、ピザ作り体験（花木センター）～紅葉狩り&神社めぐり（医王寺、賀蘇山神社）～温泉、夕食（つつじの湯）～農家民宿



(2日目) 農家民宿～くるりん棒体験(大塚邸)～買い物(遊の郷直売所)～そば打ち体験(上南摩自治公民館)～屋台見学(木のふるさと伝統工芸館、屋台のまち中央公園)～買い物(まちの駅)～解散(東武新鹿沼駅、花木センター)



参加者の方々からは、「地元の話を沢山してくださり鹿沼の事が少しわかった気がします」、「気づいたことや感じたことが多く、とても良い体験ができました」、「実家に帰ってきたような気分だ」などの声を頂いた。また、受入地域の方にははじめて農泊に取り組み受け入れの様子を体感していただき、「農泊受入をやってみて良かった」との感想があった。

④第3回検討会

日 時：平成31年2月5日(火)
場 所：栗野コミュニティセンター
参加者：9名(事務局6名)
内 容：受け入れ地域の方の感想
専門家のアドバイス
今後の方向性の検討

⑤成果と課題

既に単独では各種イベントを実施しているが、連携した取り組みには至っていなかった複数地域が、農家民宿を含む1泊2日の行程を組むことにより、連携してグリーン・ツーリズムに取り組むことができ、初めて農泊受け入れにもチャレンジしていただけた。

モニターツアー前の2回にわたる検討会では、関係者間で地域資源を情報共有しながら互いを知ることから始まり、各々の意向を尊重しつつ、モデルプログラムの方向性を検討するとともに、地域の方々に主体的にモデルプログラムの企画に取り組んでいただいた。また、今回は、グリーン・ツーリズムの実現可能性を高めるべく、旅行会社に専門家としてモニターツアーに参加していただいた。

モニターツアー実施については、それぞれの行程での反省点はあるものの、初めてにしてはレベルが高いとの専門家の感想とともに、農泊体制を上手く構築できれば十分可能性がある地域であるとのお墨付きもいただいた。今回は花木センターが中心となって企画実施を行ったが、このようなリーダー格が存在することは地域としても非常に強みといえる。また、JR、東武、鹿沼インターに近く、地の利の良さも誘客上の大きな強みである。

今後の鹿沼市のグリーン・ツーリズムの方向性としては、①ゆったりと過ごせる行程を意識しつつ、地域の資源をさらに磨き上げ鹿沼市ならではの体験プログラムを作ること、②強みを活かした花木センターを核とした農泊受入体制づくりが今後の課題であろう。何より、地域の方が、活気ある農村になるためには前向きな気持ちが必要であること、地域が一つにまとまって取組み、花木センターが中心となって農泊ツアーを企画し、各地域は自分たちの得意なことをやればよいという農泊の受入態勢構築の形を自ら示してくれたことが何よりの成果である。行政の後ろ盾のもと、一歩ずつ前に進んでほしいと願う。日光東照宮の日本人観光客やインバウンド客に、隣接地域である鹿沼市に足を伸ばしてもらえよう、鹿沼市の農村ならではの魅力を発信しつつ、滞在型グリーン・ツーリズムを実現するための受け皿としての農家民宿が増えることを期待したい。

＜参考＞平成 30 年度とちぎ協働デザインリーグ 団体運営

I. 任意団体

ア) 理事会・総会

1. 任意リーグ第1回理事会

- (1) 日時：平成 30 年 6 月 9 日（土）
- (2) 出席者：理事 11 名
- (3) 議題
 - ① リーグ法人化について
 - ② 平成 29 年度事業報告
 - ③ 平成 29 年度活動計算書報告
 - ④ 平成 30 年度事業計画（案）
 - ⑤ 平成 30 年度活動予算書（案）
 - ⑥ 役員改選

2. 任意リーグ総会

- (1) 日時：平成 30 年 6 月 9 日（土）
- (2) 出席者：会員 16 名
- (3) 議題
 - ① リーグ法人化について
 - ② 平成 29 年度事業報告
 - ③ 平成 29 年度活動計算書報告
 - ④ 平成 30 年度事業計画（案）
 - ⑤ 平成 30 年度活動予算書（案）
 - ⑥ 役員改選

3. 任意リーグ第2回理事会

- (1) 日時：平成 30 年 10 月 10 日（水）
- (2) 出席者：理事 8 名
- (3) 議題
 - ① 平成 30 年度上期事業報告・下期事業計画（案）・年間事業予定（案）
 - ② 平成 30 年度活動予算書（補正案）
 - ③ NPO 法人リーグのあり方検討会設置について

4. 任意リーグ第3回理事会

- (1) 日時および会場：平成 31 年 3 月 12 日（火）
- (2) 出席者：理事 15 名
- (3) 議題
 - ① 「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡について

5. 任意リーグ臨時総会

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 12 日（火）
- (2) 出席者：会員 15 名
- (3) 議題
 - ① 「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡について

イ) 拡大常任理事会

1. 第1回拡大常任理事会（緊急）

- (1) 日時：平成 30 年 8 月 7 日（火）
- (2) 出席者：理事 4 名、スタッフ 2 名
- (3) 議題
 - ① リーグとして取り組むべき水害に係る被災地支援
 - ② 8 月 29 日とちぎ協働推進研究会への審議依頼事項

2. 第2回拡大常任理事会

- (1) 日時：平成 30 年 9 月 18 日（火）
- (2) 出席者：理事 4 名、スタッフ 2 名
- (3) 議題
 - ① 「法人リーグのあり方検討会」の立上げについて
 - ② 次年度事業（特に自主事業、収益事業）について
 - ③ リーグ積立金の運用について

3. 第3回拡大常任理事会

- (1) 日時：平成 30 年 10 月 26 日（金）
- (2) 出席者：理事 4 名、スタッフ 3 名
- (3) 議題
 - ① NPO 法人リーグのあり方検討会について
 - ② 栃木県経済同友会からの事業提案について
 - ③ トヨタ財団 2018 年度国内助成プログラム＜しらべる助成＞への応募について

4. 第4回拡大常任理事会

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 26 日（火）
- (2) 出席者：理事 4 名、スタッフ 4 名
- (3) 議題
 - ① 第4号議案「平成 31 年度事業計画（案）及

び平成 31 年度活動予算（案）」の採決について（特に農村振興課 2 事業の受託）

② NPO 法人リーグのあり方検討 今後の進め方について

Ⅱ. NPO 法人

1. 法人リーグ設立総会

- (1) 日時：平成 30 年 7 月 18 日（水）
- (2) 出席者：発起人 22 名
- (3) 議題
 - ① 法人の設立について
 - ② 定款の制定について
 - ③ 役員の選任について
 - ④ 法人が特定非営利活動促進法第 2 条第 2 項第 2 号及び同法第 12 条第 1 項第 3 号に該当することの確認について
 - ⑤ 平成 30 年度事業計画（案）及び平成 31 年度事業計画（案）について
 - ⑥ 平成 30 年度活動予算書（案）及び平成 31 年度活動予算書（案）について
 - ⑦ NPO 法人の設立認証申請、申請書類の字句の修正の事務局委任について

2. 法人リーグ第 1 回理事会

- (1) 日時：平成 30 年 7 月 18 日（水）
- (2) 出席者：理事 14 名
- (3) 議題
 - ① 法人理事長及び副理事長、常任理事の選任について

3. 法人リーグ第 2 回臨時理事会

- (1) 日時：平成 31 年 2 月 19 日（火）
- (2) 出席者：理事 15 名
- (3) 議題
 - ① 「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡に係る特別代理人の選任について
 - ② 平成 31 年度運営体制について

4. 法人リーグ臨時総会（みなし）

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 5 日（火）
- (2) 出席者：会員 24 名
- (3) 議題

- ① 「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡に係る特別代理人の選任について

5. 法人リーグ第 3 回理事会

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 12 日（火）
- (2) 出席者：理事 15 名
- (3) 議題
 - ① 第 1 号議案「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡について
 - ② 第 2 号議案 入会金及び会費について
 - ③ 第 3 号議案 諸規程の制定について
 - ④ 第 4 号議案 平成 31 年度事業計画（案）及び平成 31 年度活動予算（案）について
 - ⑤ NPO 法人とちぎ協働デザインリーグのあり方検討について（報告）

6. 法人リーグ臨時総会

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 12 日（火）
- (2) 出席者：会員 24 名
- (3) 議題
 - ① 第 1 号議案「とちぎボランティア NPO センター管理運営業務委託契約」の譲渡について
 - ② 第 2 号議案 入会金及び会費について
 - ③ 第 3 号議案 諸規程の制定について
 - ④ 第 4 号議案 平成 31 年度事業計画（案）及び平成 31 年度活動予算（案）について

Ⅲ. とちぎ協働デザインリーグのあり方・法人化に向けた検討

1. 理事ワーキングによるリーグのあり方検討

（平成 29 年度）

- ① 平成 29 年 6 月 30 日（金）
リーグのあり方についての理事打合せ
- ② 平成 29 年 8 月 24 日（木）、30 日（水）
あり方検討理事ワーキング第 1 回開催
- ③ 平成 29 年 10 月 7 日（土）
理事会において理事ワーキング報告があり、今後の活動方針素案や法人化の方向性を提示
法人設立のための法人化検討委員会発足

2. リーグ法人化の検討（平成 29～30 年度）

- ① 平成 29 年 10 月 28 日（土）
法人化検討委員会の開催
- ② 平成 29 年 12 月 5 日（火）
法人化検討委員会の開催
- ③ 平成 30 年 1 月 12 日（金）
法人化検討委員会の開催
- ④ 平成 30 年 2 月 24 日（土）
法人化検討委員会の開催
- ⑤ 平成 30 年 3 月 10 日（土）
理事会において法人化の方向性を協議
法人化の形、設立趣意書案、定款案を提示
- ⑥ 平成 30 年 4 月 24 日（火）
法人化検討委員会の開催
- ⑦ 平成 30 年 6 月 9 日（土）
理事会・総会においてあり方検討を継続し
て行うことを条件に法人化を決定
- ⑧ 平成 30 年 6 月 16 日（土）
法人化検討委員会の開催、終了
- ⑨ 平成 30 年 7 月 18 日（水）
NPO 法人リーグ設立総会

3. リーグのあり方検討勉強会（平成 30 年度）

- ① 平成 30 年 10 月 10 日（水）
理事会において NPO 法人リーグのあり方
検討会の設置を決定
- ② 平成 30 年 11 月 13 日（火）
第 1 回検討勉強会開催
ぽ・ぽ・らをとりまく環境の変化
- ③ 平成 30 年 12 月 18 日（火）
第 2 回検討勉強会開催
市町中間支援センターの設置・活動状況と
ぽ・ぽ・らの役割
- ④ 平成 31 年 2 月 4 日（月）
第 3 回検討勉強会の開催
ぽ・ぽ・ら・リーグの課題と解決策

とちぎ協働デザインリーグ
平成 30 年度事業報告書

企画・編集
とちぎ協働デザインリーグ

発 行
とちぎ協働デザインリーグ